

第1回会議（12/17）で挙げられた課題及びテーマ等

今回の照会事項

I 検討テーマの方向性の順位付け
II 検討テーマ（案）の提示

第2回会議（2～3月）
・検討テーマの決定

委員からの課題提起、テーマの提案	I 検討テーマの方向性	II 検討テーマの例（検討テーマ(案)）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な施策を市で実施しているが、企業にはあまり知られていない。 ○ 中小企業支援の課題も分かっていて、支援機関等の体制も整っているのに、事業の運用や周知に課題があるのではないか。 ○ 協同組合、官公需適格組合についての行政内及び市民への周知が必要。 ○ 静岡市ではものづくり産業が盛んであることを県外の方に知ってもらうことが大切。 ○ 障がい者雇用に積極的に取組む等の企業について、市としてもクローズアップし企業価値を高める、また教育の現場でも教えていくことが必要。 ○ 中小企業や小規模企業の生の声、リアルな声を集めて活かしていくため、中小企業等が抱える課題等の実態調査と検討のための部会の設置。 	<p>①知らせる・知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 静岡の産業、市の取組、中小企業等の取組を「知らせる」 ◆ 中小企業・小規模企業の実情を「知る」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市の取組内容の把握及び静岡の産業、市の取組、中小企業等の取組を効果的に事業者及び市民に知らせる手段等の検討。 ◆ 中小企業等の実情を把握するための手段の検討。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 将来、国によるSDGsの認証制度が始まった場合、大手企業が下請けの中小企業へ認証の取得を求めてくる可能性があり、それを見据えた対応が必要。 ○ 外国人労働者に対する支援体制の整備と充実、外国人労働者受入企業への支援の充実。 ○ 市の施策にまだ落とし込まれていないような取組（副業等）をしている企業もあり、それに目を向けることも必要。 	<p>②新たに取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 副業、外国人人材の活用、SDGs等に「新たに取り組む」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 副業、外国人人材の活用、SDGs等の取組状況の把握及び取組を進めるための方策等の検討。 ◆ 先進的な取組を活用した中小企業振興の検討。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大学入学や就職によって、市外や県外へ人材の流出が発生しており、地元の企業のことを知らないで外へ出ていってしまっている面があるのではないかと。 ○ 学生向けの事業等を行っていて感じるのは、高校生や大学生が地元企業を知らない。 ○ 教育指導要領の改定に伴い、社会に直結した探究型教育が求められており、産業界においても、それに対する協力体制の構築が必要。 ○ 地元企業に目を向けてもらうためにも、学生の静岡に対する愛着（しずおか愛）を醸成することが必要であり、そのための教育が大切。 ○ 「教育」は学生だけではなく、社会人や高齢者等幅広く当てはまり、その観点も必要。 	<p>③学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学生等が地元の中小企業等について「学ぶ」 ◆ 社会人が仕事をする上でのスキル向上等のために「学ぶ」 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学生（児童）に静岡に対する愛着を持ってもらい、地元中小企業等について学ぶ取組等の検討。 ◆ 探究的な学びに対して、産業界等が行う支援策の検討。 ◆ 社会人に対するリカレント教育（働く上での学び直し）の実施状況の把握及び取組を進めるための方策等の検討。
<ul style="list-style-type: none"> ○ 人手不足、人材不足 ○ 社員教育 ○ 事業承継 ○ 労働環境の改善 ○ 販路拡大 ○ 事業所の減少 	<p>④個別課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 個別課題の解決に向けた施策の検討。

しずおか愛とは…

中小企業振興を考える上でのテーマ（軸）として、「しずおか愛」（しずおかを愛する心）を置いたらどうか。

- しずおかの企業をより知りたい
- しずおかのことをよく知って欲しい（魅力を伝えたい）
- 生まれ故郷のしずおかで働きたい、副業したい
- しずおかで働きつづけたい



「しずおか愛」の種をまき、育て、その心を中小企業振興につなげる